

11父ヨシヤに代わって王となった、ヨシヤの子、ユダの王シャルムについて、【主】はまことにこう言われる。

「彼はこの場所から出て行って、二度とここには帰らない。

12 彼は引いて行かれた場所で死に、再びこの地を見ることはない。」

13 「わざわざだ。不義によって自分の家を建て、不正によって自分の高殿を建てる者たち。隣人をただで働かせて報酬も払わず、

14 『私は自分のために、広い家、ゆったりとした高殿を建てよう』と言い、それに窓を取り付けて、杉の板でおおい、朱を塗る者は。

15 あなたは杉の木で競って、王になろうとするのか。あなたの父は食べたり飲んだりし、公正と義を行ったではないか。そのとき、彼は幸福であった。

16 虐げられた人、貧しい人の訴えを擁護し、彼は、そのとき幸福であった。それが、わたしを知っていることではないのか。——【主】のことば——

17 しかし、あなたの目と心は、自分の利得に、さらには、咎なき者の血を流すこと、虐げと暴虐を行うことだけに向けられている。」

18それゆえ、ヨシヤの子、ユダの王エホヤキムについて、【主】はこう言われる。

「だれも、『ああ、悲しい、私の兄弟よ。

ああ、悲しい、私の姉妹よ』と言って彼を悼まず、

だれも、『ああ、悲しい、主よ。ああ、悲しい、陛下よ』と言って彼を悼まない。

19 彼はエルサレムの門の外へ引きずられ、投げ捨てられて、ろばが埋められるように埋められる。」

20 「レバノンに上って叫び、バシャンで声をあげ、アパリムから叫べ。あなたの恋人たちがみな、砕かれたからだ。

21 あなたが平穩であったときに、わたしはあなたに語りかけたが、あなたは『私は聞かない』と言った。わたしの声に聞き従わないということ、これが、若いころからのあなたの生き方だった。

22 あなたの牧者たちはみな風に追い立てられ、あなたの恋人たちは捕らわれの身となって行く。そのとき、あなたは自分のすべての悪のゆえに、恥を見、辱めを受ける。

23 レバノンの中に住み、杉の木の中に巣ごもりする女よ。あなたに陣痛が、産婦のような激痛が襲うとき、あなたはどんなにうめくことだろう。」



希望の光バプテスト教会

2021年 5月 9日 (日)

礼拝メッセージノート

## 「ユダの王たちへの宣告」

「エレミヤ書講解-47 エレミヤ書 22：1-23他 小野寺 望 牧師

### 【 エレミヤ書 22章 】

- 1 【主】はこう言われる。「ユダの王の家に下り、そこでこのことばを語れ。
- 2 『ダビデの王座に着くユダの王よ。あなたも、これらの門の内に入って来るあなたの家来も、またあなたの民も、【主】のことばを聞け。
- 3 【主】はこう言われる。公正と正義を行い、かすめ取られている者を、虐げる者の手から救い出せ。寄留者、みなしご、やもめを苦しめたり、いじめたりしてはならない。また、咎なき者の血をここで流してはならない。
- 4もし、あなたがたがこのことばを忠実に言うなら、ダビデの王座に着く王たちは車や馬に乗り、彼らも、その家来も、またその民も、この家の門の内に入ることができる。
- 5しかし、もしこのことばを聞かなければ、わたしは自分にかけて誓うが——【主】のことば——この家は必ず廃墟となる。』」
- 6まことに、ユダの王の家について、【主】はこう言われる。

「あなたは、わたしにとってはギルアデ、レバノンの頂だが、必ず、わたしはあなたを荒野にし、住む人もいない町々にする。
- 7 わたしはあなたを攻めるために、それぞれ武具を持つ破壊者たちを取り分ける※。 ※あるいは「聖別する」  
彼らは、最も美しいあなたの杉の木を切り倒して火に投げ入れる。
- 8多くの国々の者がこの都のそばを過ぎ、彼らが互いに、『何のために、【主】はこの大きな都をこのようにしたのだろうか』と言えば、
- 9人々は、『彼らが、自分の神、【主】の契約を捨ててほかの神々を拝み、仕えたからだ』と言う。」
- 10 死んだ者のために泣くな。その者のために嘆くな。去って行く者のために、大いに泣け。彼が再び帰って、故郷を見ることのないからだ。

## ◆ はじめに

| 目に見える確かさと、そうでない真理

### 1. 危機に直面したときの対応

- (1) その人の価値観、世界観、何に頼っているかが現れる。
- (2) 本当に頼るべきものを知らない人の悲劇

## ◆ メッセージのアウトライン紹介とゴール

| いつも忘れてはならないこと～危機と繁栄

\* このメッセージは、人生への危機の備えについて学ぶものである。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

## I ユダの王への宣告（1～9節）

### 1. 22章を読む前に

- (1) 時系列について：この箇所の出来事は、21章よりも時間的に前である。
- (2) 根拠：①ユダの王エホヤキムの名前が登場する（22：18）。  
②ゼデキヤの2代前の王である。

### 2. ダビデの王座に着く王へのことば

- (1) 神の預言者から、神に任命された王への宣告  
①命令は、神とイスラエルとの主従関係が前提。  
\* 実際の地上の権威として、「ダビデの王座」（2，4節）と表現される。
- (2) 内容：王は弱い立場の人々に配慮して政治を行え。



### 2. 神の嘆き

- (1) エルサレムの豊かさ  
レバノンとギルアデのたとえ：共に豊かな地の代表  
エルサレムとの共通点：祝された地である。
- (2) エルサレムの荒廃  
恵まれたエルサレムが、住む人がいない廃墟のようになる。  
異邦人たちは、イスラエル人が契約を破棄したので破滅したと噂する。

## II エホアハズとエホヤキムについての宣告（10～19節）

### 1. エホアハズ王への宣告（10～12節）

- (1) 二人の王は兄弟：弟・シャルム（エホアハズ）と兄・エホヤキム
- (2) 共にヨシヤ王の息子たちである。

- (3) 弟エホアハズが先に王になった。
- (4) 両者の父、ヨシヤ王は宗教改革を実行した善王である。  
\* 前609年、エジプトの王ネコとの戦いで戦死（2列23：29～30）
- (5) エホアハズは民の期待に押され、王になったが3か月の在位であった。
- (6) 彼は捕囚（エジプト）にあい、悲惨な最期を遂げる（2列23：31～34）

### 2. エホヤキム王への宣告（13～19節）

- (1) 兄エホヤキムはエジプト政権によって立てられた。
- (2) 民に重税を課した。
- (3) 正当な報酬を払わずに、宮殿の増改築を行った。不当な贅沢。
- (4) ヨシヤ王とは対照的な生活（不正と暴力政治）
- (5) 罪の刈り取り  
①誰も彼の死を悼むことがない  
②死体はろばが埋められるように埋められる（野ざらし）

## III ユダの同盟国の捕囚の預言（20～23節）

### 1. イスラエルの民は山の上から叫べ

- (1) レバノン（エルサレムから北方の高い山）、バシャン（北東にある高地）、アバリム（南東の山地）から：あらゆる方向に叫べ
- (2) 叫ぶ内容  
①「あなたの恋人」：ユダの同盟軍のこと  
②彼らも捕囚の民として引かれること  
③「あなたの牧者」（国の指導者たち）も引かれる。

### 2. 引かれる理由

- (1) 偶像礼拝と神の語りかけを無視する習慣
- (2) その刈り取りは、陣痛のような痛みである。

## ◆ まとめ：いつも忘れてはならないこと～危機と繁栄

### 1. 危機に直面しているとき

- ①目に見えるものと、見えない真理とどちらに頼るか
- ②危機は見えない真理に気付くチャンスでもある。

### 2. 最も危ないのは、繁栄している時である。

- ①信仰から離れる恐怖を忘れる、という過信に陥る。
- ②偶像や誤った心の状態に陥りやすい。
- ③本当の危機への備えはいつすべきか。